

活動名	美し学園子供会「日大実験教室」
-----	-----------------

貢献・連携類型	1. 地域連携・協力
---------	------------

報告者	一般教育	学科	職位	教授	氏名	大久保 尚紀
-----	------	----	----	----	----	--------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

地域に理系の学びの基地としての日本大学理工学部があることを小学生とその父兄により深く認知していただくことを大きな目標としており、現段階では、要望のあった子供会との学びの協同の場として毎年実施している。

2024年度は、高学年：「電子レンジでドライフラワー（ハーバリウム）」、中学年：「科学捜査を体験しよう！」「アルミパイプで音づくり」、低学年：「親子でストラップづくり」「ふしぎなフォークとスプーン」「ミニ地層を作ろう」と題して、理科をベースとした実験にアート等複合的な学びを含んだ実験教室の実施した（申込小学生116名）。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

対象の小学生・父兄だけでなく、協力してくれた教職課程学生や短大生も含めて、学びの質を向上させる場となった。特に本学の学生が積極的に参加することで、彼らの大きな成長の機会となった。

また、本年は、子供会の卒業者である中学生（これまでの参加実績多数の生徒）が、本実験教室の指導者側に入り、学びの循環が始まった。

今後、このような循環が発展できるようにしたい。□

対象・相手先	美し学園子供会（小学生）
--------	--------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）  
相手先からの理工学部長宛て依頼文書がある

実施日時	令和6年8月7日 9時30分～12時30分
------	--------------------------

場所	日本大学理工学部14号館ホール[受付・挨拶]、1号館第1, 2, 4実験室（一般物理）、短大実験室
----	---



本学からの参加者  
[理工]大久保尚紀(代表)、伴、ハリソン、岡田、梶山、勝木、杉友、伊東、臨時職員6名、  
[短大]豊田陽己(代表)、梅津、臨時職員1名  
[学生]教職課程5名、短大生11名

